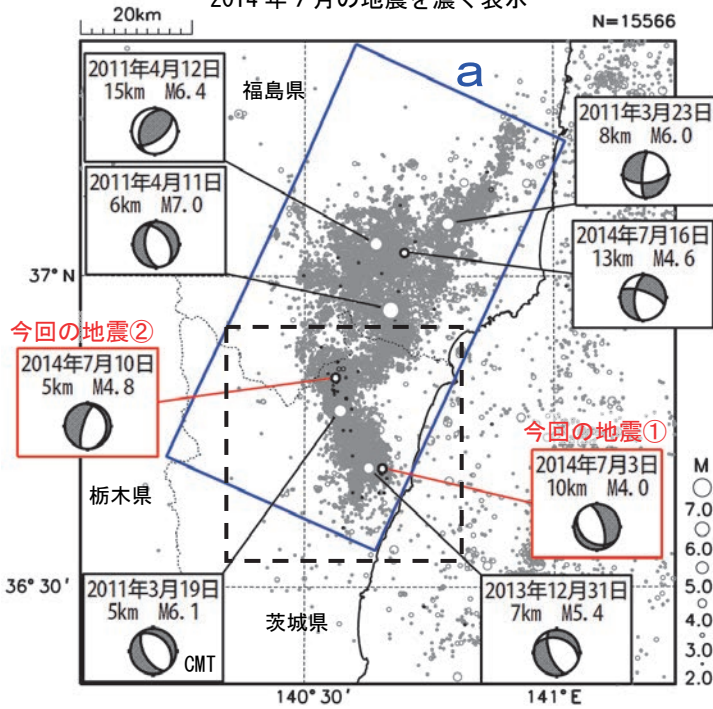


## 7月3日、10日 茨城県北部の地震

### 震央分布図

(1997年10月1日～2014年7月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
2014年7月の地震を濃く表示

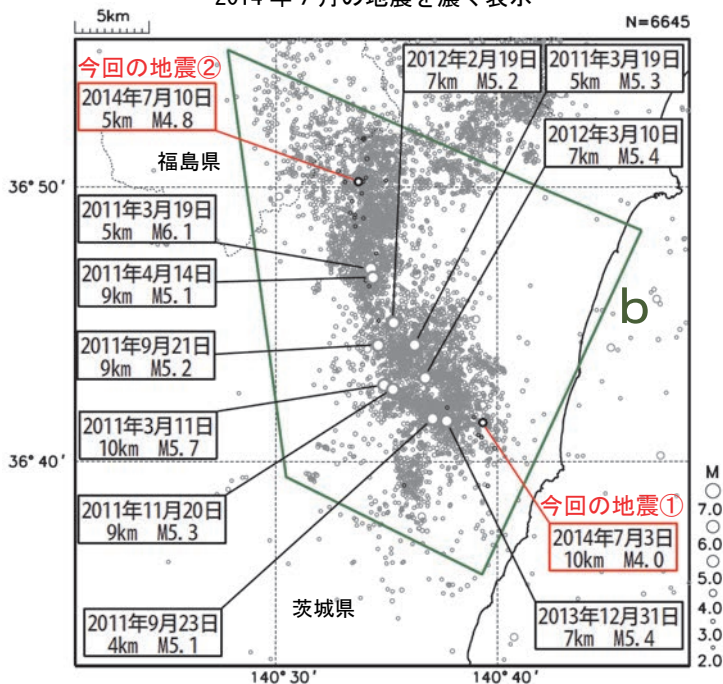


2014年7月3日07時58分に茨城県北部の深さ10kmでM4.0の地震（最大震度4、今回の地震①）が発生した。また、7月10日17時58分に茨城県北部の深さ5kmでM4.8の地震（最大震度4、今回の地震②）が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。今回の地震①の発震機構は、東北東－西南西方向に張力軸を持つ正断層型である。また、今回の地震②の発震機構は、東西方向に張力軸を持つ正断層型である。

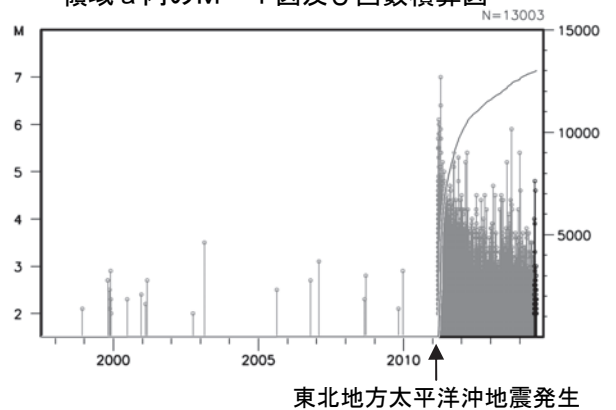
福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内（領域a）では、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の発生後に地震活動が活発化した。その活動は、全体として低下しているものの、2011年以前に比べて活発な状況が継続している。領域a内では、7月中、最大震度4を観測する地震が3回（今回の地震①②及び16日に発生した福島県浜通りのM4.6の地震）発生した。

今回の地震の震央付近（領域b）では、東北地方太平洋沖地震の発生以降、M4.0以上の地震がしばしば発生しており、2011年3月19日には、M6.1の地震（最大震度5強）が発生している。また、最近では、今回の地震①の震源近くで、2013年12月31日にM5.4の地震（最大震度5弱）が発生している。

上図の破線矩形内の震央分布図  
(2011年3月1日～2014年7月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
2014年7月の地震を濃く表示



### 領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



### 領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

